



ご卒業おめでとうございます

校庭の桜のつぼみが日に日に大きくなり、柔らかな日差しとともに春の訪れを感じさせる季節となりました。明日3月17日（金）は令和4年度羽合小学校卒業式です。6年生がそれぞれの夢に向かって巣立ち羽ばたいていく、喜びに満ち溢れた日です。



小学校生活における6年間は、心身ともに人として大きく成長する期間です。身長、体重の変化はもちろんですが、学問の基礎となる読み書きや計算がすらすらできるようになったり、多様なものの見方や考え方ができるようになったりします。例えば社会科をとおしてグローバルな見方や考え方、歴史的な見方や考え方を身につけたり、理科では実験・観察をとおして植物や昆虫に触れ、自然の神秘や自然科学の本質に迫ったりします。このように様々な学問の基礎となる学びを子どもたちは日々の学校生活の中で経験してきました。けれどもこれらの経験や学びは決して一人でできるものではありません。友だちとの関わりの中で、自分の意見を出したり友だちの意見を聞いたりし、学びの幅を広げることにより獲得されました。「関わりの知」と言うそうですが、学校で学ぶことの意義は実にここにあったのです。日々の友だちとの関係の中では、きっと一喜一憂したこともあったでしょう。けれどもまもなく卒業を迎える6年生は、全ての経験を自らの成長の糧とし、一人のたくましい人間として私たちの目の前で今、まさに輝いています。

特に小学校生活最後の1年となる今年は、最上級生として常に自覚と責任が全ての行動で求められる年でした。言い換えるならば最上級生としての役割を、その姿で数多く示してくれた1年とも言えるでしょう。例えば、4月、登校班のリーダーとなり、初めて徒歩で登校する入学したばかりの1年生の安全をしっかりと守り、遅れずについてきているか、時々後ろを振り返ったりゆっくり歩いたりして確かめながら連れてきました。6月の運動会では本校初のフラッグ演技に挑戦し、気迫と規律が合いまった素晴らしい演技を披露しました。11月の鳥取県小学校体育科研究発表大会では、県内からのたくさんの参観者の前で学びの成果をしっかりと発揮しました。委員会活動やクラブ活動では下級生をリードし思いやりのある姿を見せました。どれをとっても流石6年生と思わせる姿ばかりでした。本当に素晴らしいリーダーとしての活躍でした。上学年としての3年間は、コロナ禍の中での学校生活となりましたが、その都度、知恵を出し合い、仲間と協力して乗り越える姿がありました。その姿は、下の学年の素晴らしい手本となりました。

卒業生の皆さん、羽合小学校での多くの学びを糧とし、誇りとし、中学校でも自分らしく輝き活躍されることを心から願っています。

「ご卒業おめでとうございます」



6年生の保護者の皆様、ありがとうございました

6年生の保護者の皆様、お子様の小学校ご卒業、誠にありがとうございます。また、長きにわたり羽合小学校教育にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。一人一人の児童をしっかりと支えていただいた保護者の皆様に、改めて感謝いたします。本当にお世話になりました。

これまで6年生を温かく見守り、支え、励ましていただいた地域の皆様、ボランティアの皆様、ルックチルドレンの皆様など、お世話になったすべての皆様に、心より感謝申し上げます。